

平成22年度県予算「人が輝く 活力・安心予算」 将来の飛躍に向けて、人が輝く 元気とやまの創造を目指します。

平成22年度の県予算は、緊急の課題である経済・雇用対策を拡充するとともに、将来の飛躍に向けた施策を積極的に盛り込んだ「人が輝く 活力・安心予算」です。予算規模は、前年度比4.8%増の557.4億6500万円、平成7年度以降で最も高い伸びとなりました。特に、経済・雇用対策、産業の振興、子育て、教育、文化、医療・福祉の充実、社会資本整備などの政策経費は、前年度比12.7%増と平成元年度以来の高い伸びとなり、県民の皆さんのご意見を県政にしっかりと反映しています。

ポイント1 迅速かつ的確な 経済・雇用対策

現下の厳しい経済情勢を踏まえ、経済・雇用対策を県政の最重要課題と位置づけ、平成21年度2月補正予算と一体の14カ月予算として編成しました。

経済・雇用対策

- 現下の経済情勢を踏まえた対策
～中小企業制度融資の拡充～
「経済変動対策緊急融資」
融資枠を大幅に拡大（新規融資枠を前年度60億円増）
- 緊急経営改善資金（借換資金）
借換えと合わせて新規運転資金に充てる一定の融資を対象に追加
- 将来を見据えたものづくり産業の振興、新産業の育成
- 雇用対策
○雇用関係交付金（基金総額：約149億円）を活用した雇用の創出
21年度は2825人の雇用創出、22年度は3700人程度（事業費約72億円）、23年度までの3年間で1万人超の雇用を創出
- 重点分野人材育成プログラム事業、離職者向け職業訓練の拡充
- 公共・県単独建設事業の実施
○21年度2月補正予算と一体的に取り組み、工事の早期発注、需要創出
国の公共事業関係費が前年度比△18.3%とされたなかで、社会資本整備に要する経費は、新幹線整備費など本県の基盤整備に必要な事業費として104.8億円（前年度比△1%）を確保

ポイント2 将来を見据えた政策の推進 ～元気とやまの創造～

本県の新たな未来を切り拓くため、「人づくり」を活力、未来、安心の3つの基本政策を支える重要政策として位置づけながら、「元気とやま創造戦略」(25.6億円)を活用し、将来の飛躍や地域の活性化につながる施策に積極的かつ戦略的に取り組むことにしています。

厳しい財政状況のなか、今後とも、「人ひとりが輝いて生きられる」「元気な富山県」を目指し、県民の皆さんの声をお聴きしながら施策の推進に全力を尽くします。

元気とやま創造戦略

- 安心
 - 在宅医療と訪問看護の推進、福祉・介護人材確保対策、スポーツの振興
 - 環境保全、防災危機管理、安全なまちづくりなど
- 未来
 - 医師看護師の確保対策、救急周産期医療体制の整備
 - 保育サービスの充実、放課後児童クラブの拡充、仕事と子育て両立支援
 - 中・小135人学級選択制小学校専科教員等の拡充、ふるさと教育の推進
 - 芸術文化の振興、森づくりなど
- 活力
 - ものづくり産業の振興、医薬バイオ、ロボット、航空機産業、環境エネルギー
 - 農林水産業の振興
 - 観光の振興、交通・物流基盤の整備、中心市街地・地域の活性化など

ポイント3 財政再建・ 行政改革の推進

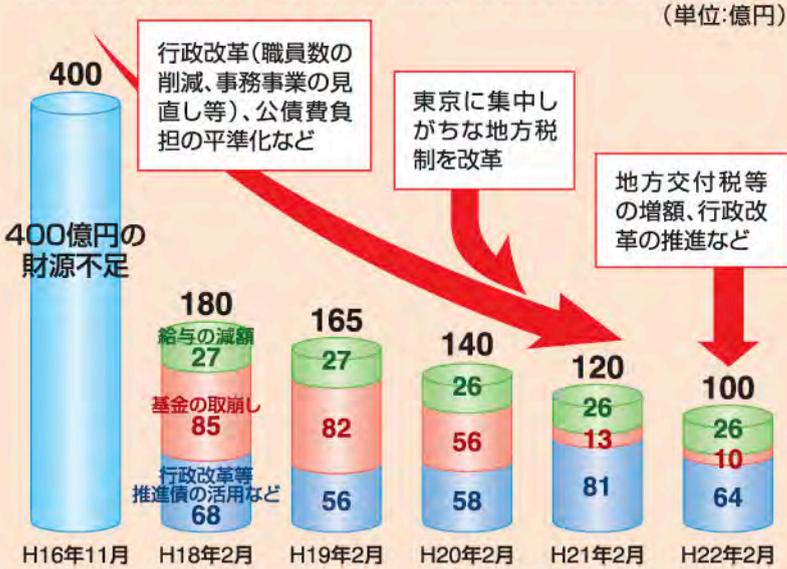
本県の財政については、約400億円の財源不足が見込まれた平成17年度を「財政再建元年」と位置づけ、以来、職員数の削減、事務事業の見直しなどの行政改革にスピード感をもつて取り組み、財源不足を着実に圧縮してきました。

平成22年度の予算編成に当たっては、景気低迷の影響を受け、県税収入の確保が平成21年度に引き続き厳しい状況となりました。このため、本県など地方から国に対して強く働きかけた結果、地方交付税等が大幅な増額となりました。また、定数削減等の効率化を進め、財源不足を約100億円にまで縮小することができました。

平成22年度予算において、積極的な予算編成ができたのは、こうした財政再建や行政改革の努力を続けてきたからこそと考えています。



構造的な財源不足の推移と最終的な財源対策の内訳



- ①職員数の適正化等
○一般行政部門の職員を平成21年4月までの5年間で13.8%(5755人)削減。今後、さらに26年4月までの5年間で7.2%(2577人)削減。これにより、16年4月からの10年間で20%(832人)の削減を目指す。
- 給料を平成17年度から6年間で減額
知事△15%(地域手当を含めると△18%)
副知事等△10%(同△13%)
一般職員△4%(同△1%) (同△7%～△4%)
- ②組織整備と簡素効率化の推進
○「交通施策の機動的・二元的な推進」、「イタイタイ病資料館(仮称)等の設置に向けた体制の充実」などを図るための組織整備
- ③公の施設及び外郭団体の改革廃止
○県営高岡駐車場は平成23年3月末をもって廃止し、施設を高岡市に譲渡
○県土地開発公社は平成23年3月末、(株)富山県木材管理センターは平成22年5月末を目途に解散
- ④公民連携の推進
○民間提案制度を活用し、会計事務等の検査監査業務などに民間委託を拡大

「元気とやま」 実現に向けた主な取組み

「活力」とやま

勤勉で進取の気性に富む人材、恵まれた交通・情報基盤、産業集積などを活かし、創意工夫、意欲に満ちた、活力あふれる県づくりを進めます。

○将来を見据えた産業の育成

- 「富山県ものづくり研究開発センター」(仮称)の開所に向けた準備 867万円
- バイオ機器の研究開発や和漢薬研究の拠点づくりを目指す「ほくり健康創造クラスター」の推進 1億2,380万円
- 薬都パーゼル(スイス)の研究者を招へい・ワークショップの開催、県内医薬品産業の販路開拓や人材確保等を支援 1,025万円
- 福祉系ロボットの研究・開発への支援 4,032万円
- 航空機産業への新規参入に向けた研究会の設置等を支援 100万円
- 中小企業による新エネルギーや資源の有効活用によるものづくりへの支援(制度融資) 融資枠3億円
- 伝統的工芸品産業における後継者育成のモデルを開発 1億883万円

○環日本海物流・国際経済交流の促進

- 県内企業の輸出入促進やビジネス機会の拡大を支援する「富山ものづくり総合見本市」の開催 6,847万円
- ロシア極東地域と日本海側港湾のみを結ぶコンテナチャーター船の試験運航や現地パイヤーとの商談会等の実施 1,600万円

○農林水産業の振興

- 県内全16JAによる野菜等の大規模産地づくり(1億円産地づくり)を支援 2,100万円
- 米粉用米や飼料用米の需要拡大に向けた取組みを支援 770万円
- 農業の担い手育成に体系的に取り組むための体制づくり(とやま農業スクール協議会)の推進 286万円
- 地産地消の推進(県産品購入ポイント制度や「地産地消」県民交流フェアの開催など) 890万円
- 県産材を使用した住宅の新築、増築への助成 2,200万円
- 「富山のさかな」のブランド化の推進、学校給食での県産魚の提供 6,074万円



地産地消のシンボルマークとキャッチフレーズ

○観光の振興

- 富山の魅力の認知度向上のための戦略的な情報発信(JR山手線の車体広告など) 2,200万円
- 県内観光旅館施設の誘客力の向上を支援(施設整備に対する融資枠の拡充) 6,800万円
- 「2010年上海国際博覧会」での観光PR、上海市内にアンテナショップを開設 4,670万円
- 近隣県等と連携したロシア極東地域における観光説明会等の実施 200万円

○交通・物流ネットワークの整備

- 北陸新幹線の建設促進(北陸新幹線(長野～金沢)1,700億円...うち県内事業費887億円(県負担296億円))
- 伏木富山港の機能の強化のためガントリークレーンを1基増設 2億2,900万円
- 富山空港の利用促進(台湾等からのチャーター便の拡大など) 5,550万円



○賑わいのある魅力的なまちづくり

- 商店街の活性化について指導・助言を行うタウンマネージャーの配置 2,003万円
- 商店街が独自に企画・実施する家族連れをターゲットとした事業を支援 500万円
- 環水公園の賑わい空間の創出、富水水上ラインの利用促進(運航関連施設の充実、運航ルートを岩瀬まで延伸など) 2,440万円

「未来」とやま

明日を担う人材が健やかに生まれ、多彩な県民活動、美しい県土づくりが進められている、未来への希望に満ちた県づくりを進めます。

○子育て支援・少子化対策

- 特別保育事業(病児・病後児保育、延長保育、休日保育)の拡充 4億6,220万円
- 事業所内保育施設等の設置促進(運営費の助成期間の延長) 3,140万円
- 公共・民間施設における妊産婦優先駐車場や授乳室等の整備への支援 7,600万円
- 保育サービス等に利用できる子育て応援券の配布 9,213万円
- 放課後児童クラブの拡充 2億4,008万円
- 結婚を希望する男女のボランティア活動を通じた出会いの場の創出 200万円
- 子ども手当の利用促進キャンペーン 1,500万円



保育サービスを充実し、子育てを支援

○学校教育の充実

- 少人数教育等のための教員の配置(40人増員) 3億2,000万円
- 中学校1年生の35人学級選択制の実施、小学校専科教員等の配置 7,657万円
- 小・中学校へのスクールソーシャルワーカーの派遣の拡充 1,131万円
- 再編に伴う新高校(5校)の施設整備、県立学校の老朽化等に伴う改築 19億3,716万円
- 県立高校における探究科(仮称)の開設に向けた学習内容の検討、指導教員の養成 350万円
- 郷土の優れた先人や豊かな自然・歴史等を再発見する教材の作成 500万円

○人材の確保・育成、男女共同参画の推進

- 若手のものづくり人材の育成(若手技能者を対象とした研修会「やる気塾」の実施など) 100万円
- 民間就職支援会社と提携したUターン就職支援 1,620万円
- ライフステージに応じた女性の多様なチャレンジ活動を支援する研修等の実施 520万円

○芸術文化の振興

- ふるさと文学館(仮称)の整備(知事公館の廃止と必要な増改築、基本設計等) 2,930万円
- 「シアター・オリンピクス利賀2010」の開催支援 3,000万円
- 「立山・黒部」および「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録に向けた取組みを推進 939万円

○魅力ある地域づくり、森づくり

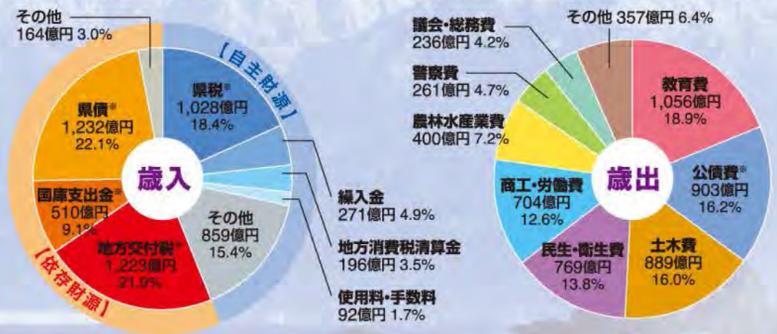
- 「くらしたい国 富山」の創造(定住・半定住の促進、首都圏等での相談体制や情報発信の充実など) 2,048万円
- 歴史的・文化的資源を活かした個性あふれるまちづくり活動を支援 6,770万円
- 屋外広告物の適正化の推進(現状調査、既存不適格広告物の撤去等に対する助成など) 6,575万円
- 里山の再生整備(県民協働による里山林の整備、竹資源の利用促進など) 1億3,110万円
- 県産材の利用促進(県産材遊具の開発・設置、公共施設等の内装木質化など) 1,660万円



県民協働による里山林の整備

●平成22年度 一般会計予算 予算総額 5,574億6,500万円 (対前年度比 +4.8%)

【14カ月予算(21年度2月補正予算 + 22年度当初予算) 5,658億8,200万円(平成21年度14カ月予算比 +3.7%)】



◎予算額は1億円未満を四捨五入しているため、一部の構成比率は合致しない。また、各金額の合計は予算総額と一致しない。

用語解説

- 県税**...県民税や事業税など、県が徴収する税金
- 地方交付税**...どここの地域においても標準的な行政サービスを提供するために必要な税金等が不足している地方公共団体に対して、国から交付されるお金。地方公共団体が使い道を決めることができる。
- 国庫支出金**...国が使用目的を特定して交付するお金で、国庫補助金・負担金などがある。
- 県債**...道路や学校など長期間利用する公共施設の整備のために県が借り入れるお金で、将来利用する住民にも費用を負担してもらうもの(通常債)。これ以外に、国の地方交付税の財源が不足しているために、県がお金を借り入れる臨時財政対策債(償還費用は後年度に国が全額交付税で財源措置)などがある(特別債)。
- 公債費**...県債の返済に使うお金

「安心」とやま

豊かな自然や生活環境を活かし、住み慣れた地域の中で、健康で快適に、安全で安心して暮らせる県づくりを進めます。

○医療の充実

- 県立中央病院の機能強化(新棟病棟の整備、NICU増床等に向けた中央病棟改築の実施設計など) 13億4,643万円
- 救急・周産期医療体制等の充実(救急医療センターの整備や周産期母子医療センターの運営支援など) 9億7,450万円
- 医学生への修学資金貸与の拡充 1億1,222万円
- 富山大学の看護教育施設の整備への支援(入学定員60名→80名) 4億7,300万円
- 新型インフルエンザ等感染症対策(治療薬の備蓄、総合対策訓練の実施など) 1億6,601万円

○福祉の充実

- 福祉関係施設従事者の処遇改善に向けた取組みを支援 19億8,456万円
- 介護基盤施設整備(スプリンクラーを含む)の促進を支援 23億3,238万円
- 米寿のつどい(仮称)の開催 700万円
- 障害者授産施設への営業・販売補助員の配置 4,644万円

○スポーツの振興

- 第23回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクとやま2010」の開催 3億9,500万円
- ナショナルトレーニングセンター等と連携した選手強化や強化指定選手に対する医・科学的なサポート体制の充実など 2,020万円
- 県内プロスポーツチームによる子どもスポーツ教室の開催 330万円



「スポレクとやま2010」大会マスコット きときと君

○豊かで快適な環境の保全

- 住宅用太陽光発電システムの設置への助成 5,180万円
- 中小企業や家庭における省エネ設備等の導入への助成 6,320万円
- 農業用水を利用した小水力発電施設の整備(実施設計等) 6,682万円
- 「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」へのPRブースの出展、エクスカージョンの開催 510万円
- 「レッドデータブックとやま」の改訂に向けた生息調査やライチョウの生息数等の調査 2,015万円
- イタイイタイ病資料館(仮称)の整備(国際健康プラザの一部を活用、基本設計等) 1,760万円



仁右門用水発電所(立山町)竣工式(平成21年12月)

○安全・安心なまちづくり

- 交通ICカードシステムのバス路線拡大への助成 2,938万円
- 消防学校・防災拠点施設の整備(本体工事に着手) 17億8,675万円
- 自主防災組織の防災資機材等の整備への支援 3,075万円
- 射水警察署の移転新築に係る整備(基本・実施設計等) 1億1,037万円
- 犯罪の発生日、場所等をホームページ、携帯電話メール等で提供 389万円
- 消費者行政の充実(相談員の養成講座の開催、弁護士等による専門相談の実施、市町村の相談窓口の体制強化への支援など) 1億円

県政の動き

最近の動き

- 1・7 元気とやま農林水産奨励賞(水産部門)表彰式
- 14 富山のさかなキトキットフェア(東京)ふるさと文学資料評価活用委員会子育て支援教育ミーティング(南砺市)歴史と文化が薫るまちづくり事業検討委員会
- 15 第1回「富山県推奨とやまブランド」認定委員会
- 25 トップアスリート育成強化プロジェクト会議①
- 29 ニタイイタイ病関係資料継承検討会
- 2 県行政改革委員会
- 8 心るさと教育有識者懇談会
- 9 県子育て支援少子化対策県民会議
- 11 中小企業との対話(砺波市)
- 12 富山ものづくり懇談会
- 13 越中とやま食の王国フェスタ2010(冬の陣)(高岡市)
- 19 平成22年度県予算案発表
- 19 元気とやま農林水産奨励賞(農業部門)表彰式
- 21 中央病院新東病棟(仮称)新築工事起工式②
- 23 県緊急経済・雇用対策推進会議
- 26 県議会定例会(3月24日)
- 3・4 富山県民栄誉賞検討委員会
- 9 とやま産地消県民会議
- 12 「富山のさかな」ブランド化推進協議会
- 25 田畑真紀選手、穂積雅子選手への県民栄誉賞の贈呈

今後の予定

- 4・13 キトキットとやま丸の内クルージング(東京丸の内、24日)
- 5・22 「スポレクとやま」2010「150日前」イベント
- 元気とやまウォーク
- ラリーin富山
- 【同時開催】(富山運河環水公園周辺)とやま森の祭典(太閤山ランド)



②新たな病棟の建設工事に着手しました。



①会議終了後、具体的な方策等を取りまとめた報告書が知事に提出されました。

県内おでかけ情報

県立近代美術館

「絵とことばの世界 色彩と文字が織りなすアート」
開催中～4月18日(日)
料金●一般500円(400円)、大学生400円(300円)、小中高生無料

京都国立近代美術館 M&Yコレクション 池田満寿夫の版画

4月29日(木・祝)～6月27日(日)
料金●一般700円(550円)、大学生500円(380円)、小中高生無料
池田満寿夫の版画コレクションより300点を展示します。



「スプリング・アンド・スプリングス」1966年

富山市西中野町1-16-12 TEL 076-421-7111
開館●9:30～17:00(入館は16:30まで) / 休館●月曜(祝日は開館)、祝日の翌日 / 交通●富山駅(CiC横)から富山ミュージアムバス(城南ルート)で約10分(無料) 富山駅から地下鉄バスで「西中野口」下車、徒歩2分 ※料金の()内は20名以上の団体料金
http://www.pref.toyama.jp/branches/3042/3042.htm

県水墨美術館

「琳派・若冲と雅の世界展」

4月9日(金)～5月16日(日)
料金●一般1,000円(800円)、大学生700円(500円)、小中高生無料
日本美術の優品を幅広く所蔵する細見美術館(京都市岡崎)の名品展。同館でも人気の高い琳派や伊藤若冲の作品をはじめ、同館の主要コレクションの一つの物語絵や仏教美術作品などを一堂に展示し、広く日本美術の魅力を紹介しします。



伊藤若冲「雪中雄鶏図」

富山市五福777 TEL 076-431-3719
開館●9:30～17:00(入室は16:30まで) / 休館●月曜(祝日は開館)、祝日の翌日 / 交通●富山駅(CiC横)から富山ミュージアムバス(呉羽山ルート)で約6分(無料) 市内電車大学前行「新富山」下車、徒歩約10分 ※料金の()内は20名以上の団体料金
http://www.pref.toyama.jp/branches/3044/3044.htm

県中央植物園

「植物画で見る桜花展 永遠の桜の園」

開催中～4月29日(木・祝)
中央植物園友の会植物画部会の皆さんや植物画の第一人者である二口善雄画伯の描いた桜の植物画などを展示します。



「桜花園」(二口善雄作)

「ソメイヨシノと夜桜観賞」
4月上旬(満開日の4日間)
9:00～21:30(入園は21:00まで)
満開日に合わせて無料開園します。ライトアップは、午後6時頃からの予定です。

「日曜植物案内」4月4日(日)13:30～14:30(当日受付)
見頃の植物や話題の植物について解説します。

「植物園オリエンテーリング」4月18日(日)10:00～(当日受付)
植物に関するクイズを解きながら、園内を楽しめぐります。

富山市婦中町上樹田42 TEL 076-466-4187
開園●9:00～17:00(入園は16:30まで) / 休園●木曜(祝日は開園)、ただし4月は休まず開園 / 入園料●一般・大学生600円(480円)、小中高生無料 ※()内は20名以上の団体料金 / 交通●富山駅から地下鉄バスで「中央植物園口」下車、徒歩10分 http://www.bgtym.org/



○の中に言葉を入れてください。

平成22年度県予算は、「○が輝く 活カ・安心予算」です。(ヒントは特集ページ(1P)にあります。)

正解者の中から10名の方に、「焼きしろえび炊き込みご飯」をプレゼントします。

はがきにクイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本紙の感想を記載し、下記まで。当選の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

宛先 〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課「県広報とやま4月号クイズ係」締切 4月16日(金)(必着)



※お知らせ

今回、「温故維新」、「県政Q&A」および「健康レシピ」のコーナーは、紙面の都合上、お休みしました。次回(6月号)からは、これまでどおり掲載する予定です。

必聴 必見 県広報のお知らせ

4月から県政テレビ番組が変わります。リニューアルした各番組を、ぜひご覧ください。*放送終了後、各テレビ局のホームページにて番組の内容を配信します。

新こんにちは富山県です 北日本放送

●毎週土曜 9:30～9:45
●再放送: 原則として各月後半2週のみ
金曜11:00～11:25(2回分を放送)
第1回目の放送は、4月17日に「魅力いっぱい中央植物園」と題して放送します。

元気とやま情報スクエア FMとやま

●毎週月曜～金曜(最終金曜を除く) 10:50～10:55、再放送17:35～17:40
●毎月最終金曜 10:50～11:00、再放送17:35～17:45
*最終金曜は、「知事の県政ざっくばらん」と題して、知事が最新の話題について語ります。

新月刊元気とやま情報チャンネル 富山テレビ放送

●毎月最終土曜 15:55～16:50
第1回目の放送は5月1日です。(第2回目以降は毎月最終土曜に放送)
ふるさと富山の魅力や生活に役立つ情報を、視聴者参加型のクイズを交えてお伝えします。

県からのお知らせ コミュニティFM

●富山シティエフエム◎ラジオたかおか
◎ラジオ・ミュージックエフエムとのみ
◎エフエムいみず(月曜のみ)
●毎週月曜朝および金曜夕方

新とやまメモリアルナイト チューリップテレビ

●毎週火曜 21:54～22:00
●再放送: 放送した週の金曜11:25～11:30
第1回目の放送は4月20日です。
県が取り組んでいる事業やイベントの内容などをわかりやすくタイムリーにお知らせします。

新聞広報「県からのお知らせ」

●4月10日、17日、24日の各土曜の朝刊各紙に掲載予定
*17日は、一部の朝刊には掲載しません。
その他、月刊タウン情報とやま、フリーペーパー「f02」、「minto」、「ふみたん」に、県広報をそれぞれ年6回掲載

モバイル県庁

携帯電話からも県の情報を閲覧できます。(右のQRコードから)



「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折込みにより各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧できます。平成22年3月31日発行 企画・発行 / 富山県知事政策局広報課 富山市新総曲輪1番7号 076-431-3131(県民相談電話) / 076-444-3300(県民相談ファックス) 編集協力 / 株式会社シー・イー・ピー

「県広報とやま」に関するご連絡、ご質問は

〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課 まで TEL:076-444-3134 FAX:076-444-3478 E-mailは次のアドレスのフォームよりお送りください ▶ http://www.pref.toyama.jp/form.html 広報課ホームページ http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1001/

広告掲載の お問い合わせ

株式会社シー・イー・ピー 企画営業部 まで TEL:076-439-3311(代)